

収納カウンセラー
飯田久恵さんの
収納の基礎講座

3

Chapter: 3

飯田久恵式 収納法 ラクな収納 「3つの基本収納」

収納用品とはカゴやカラーボックスなどを使うことと思っている方が案外多いものです。しかし、モノを収納する基本収納は次の3つです。

基本1 ハンガーパイプ (フック)

吊るすモノの代表はハンガーに吊るした服です。その他置きにくいトートバッグやキッチンツールなどはフックに吊るします。



基本2 棚

モノを置くには置く面積が必要です。棚は棚の面積×枚数の面積を確保することができます。また、モノのサイズに合わせ、高さを変えられることは重要。スペースを有効に使えます。



基本3 引き出し

引き出しは、衣類だったら下着やハンカチなど比較的小物の収納に使います。上から見てすぐ分かり、出し入れしやすい。そのためには、重ねて入れない、引き出し家具の高さは取りやすい人の胸の高さまでとします。



棚の使いこなし術

「SSシステム」で棚を取り付け、使い始めた時に知っておくと得するコーナー

「SSシステム」の棚は収納の万能選手です!

その理由は何でしょう? それはどんなサイズのモノにも適応できるからです。モノのサイズはたて・よこ・高さの3サイズ。「SSシステム」は、棚の幅、高さを自由に設定。奥行も150~450mmまで7サイズが揃っているので、日常、人が生活や仕事に使う道具は、ムダなスペースをつくらずに出し入れしやすく収納できます。また、モノの大半は平面に置きます。その平面が棚。棚の枚数分だけ収納面積を確保することができます。

●「SSシステム」を上手に使いこなすための棚の選び方●

選び方 その1 棚の幅を決めよう

設置する壁の長さや置きたいモノの大きさに合わせて棚幅を決めます。「SSシステム」の棚は、長さ1810mmをカットするので幅を自由に設定できます。(注文時に指定) 棚を左右に分ける場合はシングルサポートを2本またはダブルサポートを使います。

幅の決め方 ポイント

様々な高さのモノを置く場合、1スパンよりダブルサポートを使って2スパンにすれば、スペースを有効に使えます。

スペース効率よい



ダブルサポートなら左右高を変えられるのでムダなスペースができない

スペース効率悪い

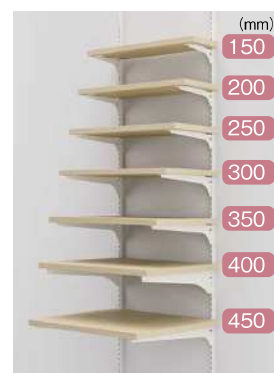


シングルサポートの場合、棚板が左右に分かれるので↓のようなムダな空間が生じる

選び方 その2 棚の奥行きを決めよう

置きたいモノの奥行きに合わせた棚を選びましょう。一目瞭然となり出し入れがラクです。収納の目的は「たくさん入れることではなく、使うため」。大は小を兼ねると考え、入れたいモノよりも大きなサイズを選ぶと奥のモノが見えにくく、出しづらくなります。気を付けましょう。

奥行き決め方 ポイント



同じ場所に奥行き違いのモノを入れる場合も、モノに合った奥行きを選んで設置できます。

■奥行き目安(mm)

250	食品 トイレペーパーバック 食器 片手で持てる生活道具 A4判本類 ティッシュペーパーストック
300	A4ファイル 食器 靴類
350	たたんだ衣類 食器類 調理器具 靴類(大) 大皿 アルバム 古新聞 古雑誌
400	ホットプレート 掃除機 大きなサイズのたたんだ衣類 靴類 扇風機 バッグ
450	大型調理器具 掃除機 ミシン 洗い桶 紙袋

選び方 その3 高さを決めよう

「シューノ19」は19mmピッチ
「シューノ32」は32mmピッチで
入れたいモノの高さに合わせて
自由に高さ調整できるのが長所
です。置くモノの高さを測り、必要
な棚板の枚数を決めます。飾り物
の場合は、上の棚までの間にゆとり
をもたせると美しく見えます。

高さ決め方 ポイント



置いたモノの上にゆとりを持たせて上の棚をセットすると、出し入れが楽になり、飾った場合もきれいに見えます。